# 第20回微小光学国際会議

The 20th Microoptics Conference

H27会自7

開催日　平成27年10月25日～平成27年10月28日（4日間）
開催地　福岡県福岡市　福岡国際会議場
申請者　福岡工業大学　工学部　電子情報工学科　教授　片　山　龍　一

## 会議の概要と成果

第20回微小光学国際会議（The 20th Microoptics Conference：MOC'15）が、2015年10月25日（日）～28日（水）の4日間にわたって、福岡国際会議場にて開催されました。20回の歴史の中で初めての九州での開催です。組織委員長は片山龍一（福岡工大）と井藤幹隆（NTT）が、プログラム委員長は浜本貴一（九大）と岩本敏（東大）が務めました。また、3名のアドバイザーの元、福岡在住の研究者を中心とする8名からなる現地実行委員会が組織され、加藤和利（九大）が委員長を務めました。

今回の会議参加者は20か国・地域から234名を数えました。海外からの参加者は61名で全参加者の26％を占めました。

論文発表件数は155件（取消4件含）でした。内訳は、基調講演3件、招待講演15件（特別セッションの招待講演5件含）、口頭講演36件、ポスター講演89件、ポストデッドライン12件でした。MOCは単一セッションでの開催としており、オーラルセッションの数は11でした。日本人の発表が90件に対し、外国人の発表が65件と、全体の42%となりました。2004年から海外開催を隔年で行ってきたため、国際化が定着してきたようです。今回は学生の参加者も多く、教育的な側面でも大きく貢献しました。

会議初日の10月25日（日）は、午後からMicrooptics Reviewと題して5件のチュートリアル講演が行われました。学生や初学者向けのわかりやすい講義内容となっている一方で、熟練の研究者からも、「基礎的な内容の中にも新たな発見があった」などのコメントが聞かれ、基礎の大切さを噛みしめる予想以上に有意義な半日となりました。

会議2日目には、まず組織委員長による開会の挨拶がなされ、引き続き基調講演3件が行われました。井筒教授（JSPS/早大）からは、高速光通信を支えてきた変調器の黎明期から現在までの技術変遷について講演がなされました。また、Y.–H. Lee教授（KAIST）からは、微細加工技術を駆使した様々な微小レーザーについて紹介がなされました。最後の講演者であるD. Richardson教授（Southampton大）については急な事情により参加が叶いませんでしたが、音声付きスライドを準備していただき、大容量光通信を支えるファイバー技術について最新状況の紹介がなされました。

午前と午後にわたって4つのオーラルセッションを終えた後、軽食を挟んで18時から、“Challenge for novel organic optoelectronics －prospect for future organic lasers－”と題した特別セッションが、九大の安達教授、横山教授、興教授を座長に開催されました。5件の招待講

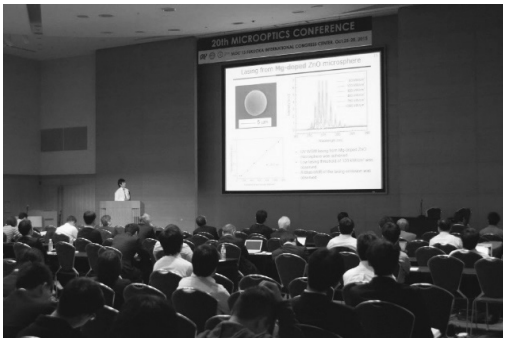
演が行われ、レーザーへの応用が期待される有機半導体材料について、基礎的な内容から最新状況まで網羅的に講演がなされ、活発な議論がなされました。

3日目は、午前のオーラルセッションの後、午後からポスターセッションが開催されました。講演番号により分けられた2つのグループが、ポスターを掲示したまま、前半後半に分かれて説明する形式で行われ、活発な議論が続けられました。また、夕方からは、伊賀教授（東工大）が率いる町田フィルハーモニーバロックによる恒例のマイクロコンサート（第16回）が行われ、多くの参加者が優雅な演奏に聴き入りました。コンサート後にはコンファレンスパーティーが行われ、参加者同士の交流の輪が大きく広がりました。

最終日には、ポストデッドラインを含む4つのオーラルセッションが行われ、その後、閉会を前に各賞の授賞式が開催されました。基調講演の3氏には、微小光学分野における顕著な研究業績に対しMOC Awardが、ECIO-MOC2014開催に際して現地実行委員の中心となったM. De Micheli教授（CNRS）にはMOC Contribution Awardが贈呈されました。また、2件の優秀な論文にPaper Awardが、5名の学生にStudent Awardが贈られました。さらに、協賛のIEEE Photonics Society日本支部から出席された委員長の笠氏により、2名の若手研究者にYoung Scientist Awardが授与されました。

次回のMOCは2016年10月12日～14日に、David Brower Center（Berkeley, California, USA）で開催予定です。最後に、会議開催にあたりご支援いただいた協賛・助成団体、会議運営にご協力いただいた多くの方々、そして会議を盛り上げていただいた参加者の皆様に深く感謝の意を表します。

福岡国際会議場




オーラルセッション風景

オーラルセッション風景

ポスターセッション風景